

第 67 回 宮崎県保育事業研究大会開催要綱

● 大会主題 ●

すべての人が
子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現をめざして

1. 趣 旨

宮崎県保育事業研究大会は回を重ね、今年は第 67 回目を迎えます。

平成 27 年 4 月に子ども・子育て支援新制度が施行され、5 年目が過ぎようとしており、制度についての見直しが行われているところです。

国は待機児童対策を進める中、幼児教育・保育の無償化を令和元年 10 月にスタートしましたが、大都市等では更に待機児童が増える可能性もあり、財源不足等の課題も浮き彫りになっているところです。その一方で過疎地域では子どもの減少により施設運営にも影響が出始めています。

また、保育人材の確保においては、人材不足も一向にして売り手市場の状況で行政間の財政格差から、都市部への保育士・保育教諭の流出、潜在保育士の復帰も上手く進んでおらず、全国で大きな影響が出ています。質の向上に関しては『キャリアアップ制度』がスタートし、2 年が経過しました。県内では、県の委託事業として、県保連でもキャリアアップ指定研修として実施しておりますが、今後も職員の質の向上と処遇改善には更なる仕組みの構築が必要です。

さらに、環境問題、貧困・格差・虐待問題など深刻化、開発がすすむ IT 技術などの社会変化の中で、これからの時代を生きる子どもたちに必要な力や保育者に求められるニーズも変化してきています。この様な変化に対応するために、「保育所保育指針」・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」も昨年度から施行されました。

子どもたちや保護者と関わる私たちにとって「質の向上」は最重要課題です。宮崎県保育連盟連合会では、子どもの最善の利益の保証に向けた取り組みや保護者・地域の福祉ニーズに対応した事業をそれぞれの施設が実施できるよう、保育事業の研究を深め、養護と教育の実践の更なる向上を目指すことを目的として、本大会を開催いたします。

2. 主 催 一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会
3. 後 援 宮崎県・宮崎市・社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会（予定）
4. 期 日 令和 2 年 2 月 21 日（金）
5. 会 場 宮崎観光ホテル 宮崎市松山 1 丁目 1 番 1 号（TEL：0985-27-1212）

6. 費用

(1) 次の費用は参加者の負担といたします。

参加費（資料代）：会員施設・3,000 円 ・非会員施設・5,000 円

養成校職員：2,000 円・学生：1,000 円

昼食代：1,000 円（お弁当・お茶付）

※ 記念講演のみ参加の場合でも、参加費用は同金額です。

(2) 提案者・助言者については参加費及び昼食代は免除します。なお、被表彰者及びその他の役員・係員については、参加費及び昼食代が必要となりますのでご注意ください。

7. 日程及び大会内容

(1) 日程

	9	10	30	11	12	13	14	15	16
2 / 21 (金)		受 付	式 典	記念講演	昼 食		分 科 会		

(2) 日程及び内容

9：00～10：00 受 付

10：00～10：30 式 典

10：30～12：00 記念講演

演 題：「保護者の育児意識の育み方と苦情の予防と対応」

講 師：林 和豊（はやし かずとよ）氏

（元 宮崎県延岡児童相談所長）

✿ プロフィール ✿

昭和 26 年生。宮崎県小林市出身。小林高等学校・日本福祉大学社会福祉学部を卒業。

県延岡児童相談所長、県立児童自立支援施設みやざき学園長、社会福祉法人
浄信会三松保育園長などを歴任。現在は宮崎市教育委員会子育て講座登録講師。

12：00～13：00 昼 食

13：00～16：00 分科会

8. 分科会テーマ及び研究課題

「全国保育協議会の将来ビジョン」の構成にそって、本大会の分科会テーマを設定していますが、九保大会へ進む分科会（第 1・第 7・第 8）と特別分科会（給食部）の 4 つの分科会で開催します。

◆ 分科会の方法について

座長を中心に分科会のスタイルに合わせたタイムスケジュールにて開催いたします。

【 カテゴリー1 】 子どもの育ちを保障する

保育所・認定こども園等の大きな役割は、子ども自身が自ら持っている発達する力を活かし、側面的に支援することをおして、その子どもの発達を保障することにあります。子どもの発達支援を中心に据えた保育を展開するために、質の高い保育について研究を深め、また、その保育を実践する人材の育成、研修の充実に取り組みます。

第 1 分科会 （九州・全国大会では第 1 分科会）

新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～

子ども・子育て支援新制度では、「保育の必要性（の認定）」に基づいて、保育が提供されています。

また、学校及び児童福祉施設としての法的位置づけをあわせ持つ新たな幼保連携型認定こども園が創設され、保育が提供されています。

保育所は、保育所保育指針に基づき、児童福祉施設として、各保育所における創意工夫のもと、保育実践をすすめています。同時に、児童福祉施設ならびに学校である幼保連携型認定こども園では、保育所保育指針を踏まえた「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、保育実践が展開されています。

本テーマでは上記保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領のもと、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障し、保育の質を向上していくための手法や、さらに今後の保育をめぐる動きのなかで大切にすべき保育実践の視点について研究を深めます。

■ 担 当 部 ： 保育士部

■ 意見発表者 ： 宮崎市

■ “ ” 児湯郡

■ 助 言 者 ： 横山 榎子 氏（みずほ保育園 園長）

【 カテゴリー4 】 子育て文化を育む

子どもを対象とした犯罪や虐待の増加など、子どもたちをめぐる深刻な課題が増えています。次世代を創造する子どもをかけがえのない存在として愛しみ、価値を認め、子どもや子育てに多くの人に関心を持ち、私たちの未来を創造していく子どもたちを社会全体で育てていく子育て文化を、保育所・認定こども園等が拠点となって地域社会に発信していきます。

第 2 分科会 (九州・全国大会では第 7 分科会)

保育の社会化にむけて～保育の営みをいかに社会に発信するか～

少子化や核家族化がすすむなか、社会における人と人、とくに子どもとおとながつながる場面が少なくなりつつあり、社会における子ども・子育てへの関心低下につながっています。こうしたなか、子育て家庭や保育関係者にかぎらず、すべての人が子どもや子育てに関心をもつ取り組みが、安心して子どもを産み育てることができる社会づくりにむけて大切です。

本テーマでは、保育所・認定こども園等の地域にむけた諸活動の展開により、広く地域や国民に対して子ども・子育てへの関心や保育の営みの重要性を発信し、地域全体で子育てを考えていく取り組みについて、研究を深めます。

■ 担 当 部 : 子育て支援部

■ 意見発表者 : 延岡市

■ // 都城市法人

■ 助 言 者 : 村上 千幸 氏 (熊本市 山東こども園 園長)

【 カテゴリー 5 】 子育て・子育てを支援する仕組みをつくる

わが国の家族関係の給付のGDPに占める割合は諸外国のなかでも大変低い水準です。こうした環境を改善するとともに、日本の未来の社会を担う子どもを中心に、子どもたちが豊かに育つ環境を社会全体が支えていく仕組みについて研究・提言します。

第 3 分科会 (九州・全国大会では第 8 分科会)

公立保育所・公立認定こども園等の使命と地域社会での役割

保育・子育て支援の今日的な流れにおいては、多様なニーズに応えるべく、公立保育所・公立認定こども園等に求められる役割は増大しており、地域の子育て拠点として公立保育所・公立認定こども園等を位置づける自治体も増えています。

本テーマでは、公立保育所・公立認定こども園等における行政機関としてのネットワークを活かした関係機関との連携や、公立保育所・公立認定こども園等の果たす役割の重要性やその必要性について研究を深めます。

■ 担 当 部 : 公立部

■ 意見発表者 : 都城市公立

■ 助 言 者 : 田村 智佐枝 氏

(NPO 法人 SUN クラブひまわり 理事長)

【特別分科会】地域と連携しながら子どもの食と安全を考えた食育

食育は子どもたちの成長・発達を育むなかで必要不可欠なものであり、保育所や認定こども園等における日々の生活のなかで保育と一体的に取り組みます。また、今後起こりうる災害時には流通が途絶えることも考えられ、そのような時に備え地域の方々と連携しながら食が守れるのか、地域地産の大切さや食の安全性を理解し、学びを深めます。

- 担 当 部 : 給食部
- 講 演 : 演 題『食の大切さを知り、学び、備えるために』
- 講 師 : 湯浅 まき子 氏
(オフィスストーリー代表 ・ 野菜ソムリエ上級プロ)

9. 参加者の範囲

- (1) 宮崎県保育連盟連合会会員施設長が次の範囲から推薦した者
 - ① 保育園(所)・認定こども園の設置者・施設長及び職員
 - ② 小規模保育所・児童館の施設長及び職員
 - ③ 保護者 等
- (2) 県・市町村の保育行政関係職員
- (3) 保育士養成校の職員及び学生 等

10. 顕 彰

顕彰は、顕彰規程に基づき、宮崎県保育連盟連合会理事長が式典において行います。各施設長は、別添推薦書を令和2年1月24日(金)までに大会事務局に提出してください。(推薦者印が必要です。郵送をお願いします。FAX不可)
なお、表彰決定通知書は被表彰者所属施設にお送りいたしますので、ご了承ください。

11. 参加申込み

- (1) 参加申し込みにあたっては、FAXまたは郵送にて下記『名鉄観光サービス(株)宮崎支店』宛てにお申し込みください。
※ 役員(発表者含む)・係員においても参加申込みが必要となります。

《参加申込書送付先》

名鉄観光サービス(株)宮崎支店(担当:吉田、南)
〒880-0001 宮崎市橋通西2丁目4番20号 アクサ宮崎ビル
TEL : 0985-26-1414 ・ FAX : 0985-20-7355

* 申込締切 第一次 令和2年1月31日(金)
第二次 令和2年2月14日(金)

(2) 参加申込書を提出された方で、令和2年2月14日(金)以後に参加を取り消される方の参加費等については、徴収させていただきます。

なお、資料は後日、事務局より大会資料を送付させていただきます。キャンセルの場合は、トラブルの原因となりますので FAXにてお知らせください。

(3) 参加申込をいただいた施設長あてに、名鉄観光サービスより後日申込受付承諾の FAXを送付いたします。ご確認のうえ、必ず参加者にお伝えください。

*** 県保大会では、参加券等の発行はございません。**

(4) 昼食希望の方は申込書により予め注文してください。なお、研修当日のキャンセル等変更はできませんのでご了承ください。(弁当：1,000 円)

弁当代について、何らかの事情で振込みができない方は当日お支払いください。

(5) 参加費等につきましては、令和2年2月14日(金)までに下記の口座へ別添の振込用紙にてご送金ください。

※ 銀行振込控をもって領収とさせていただきます。

※ 別途領収書の必要な場合は申込書の備考欄にご記入ください。当日お渡しします。

※ 振込手数料は各自ご負担となりますので、ご了承ください。

金融機関名	： 宮崎銀行	宮崎支店
預金種別	： 普通預金	
口座番号	： 1575568	
口座名義	： 名鉄観光サービス株式会社	宮崎支店

● 振込用紙記入について

* ご依頼人は、施設名と市町村名をご記入ください。

(例 ○○保育園 宮崎市)

12. その他

● ポスター発表申込みの方は、募集要項に従って準備してください。

● 駐車場が大変混み合います。車を利用される方は、大会会場にはできる限り相乗りでお越しいただく等、ご協力をお願い申し上げます。

13. 事務局

一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会

〒880-0007 宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター内

TEL : 0985-28-5835 ・ FAX : 0985-28-5989

E-mail : office@m-hoiku.or.jp